

理科(生物) 東北大学 経済学部 (理系) 理学部 医学部 歯学部 農学部

<全体分析>

試験時間 2 科目 150 分

解答形式

選択, 記述, 論述

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

難度の高い考察問題が出題される。

論述量が多い。

その他トピックス

特になし。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	記述 論述	酵素 代謝	生物基礎 生物	問(8) 状態Ⅱでは, 状態Ⅰに比べてホスホフルクトキナーゼの活性が 3 倍にしか上昇していないが, フルクトース 1, 6-ビスリン酸の見かけ上の生成速度は 27 倍に上昇している。	標準
2	選択 記述 論述	細胞 タンパク質 遺伝子 恒常性	生物基礎 生物	問(3)(i) 心拍数を 1 分間に 70 回とすると, 全血液量は $60\text{mL} \times 70 \text{回} = 4200\text{mL}$ となり, 血しょう量はその 50% の $2100\text{mL}$ となる。	標準
3	選択 記述 論述	生殖 遺伝 遺伝子	生物	問(3)(i) $\frac{1+1}{5+1+1+5} \times 100 \div 17\%$	標準

※難易度は 5 段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

教科書レベルの知識を確実に身につけ、教科書の「参考」欄などにも目を通しておこう。

論述問題が多いので、短時間で要点をまとめて論述する練習をしておこう。

過去問の研究を十分にしておこう。